

明治44年8月洪水

明治44年（1911年）8月5日

天竜川の第1次改修の後、明治末期に襲来した台風により、各地の堤防が破堤、溢水し、広範囲が浸水し、山間部を中心に数十カ所で土砂崩れが発生しました。この災害を契機に、再度、天竜川の大改修（第二次改修）に着手することになりました。

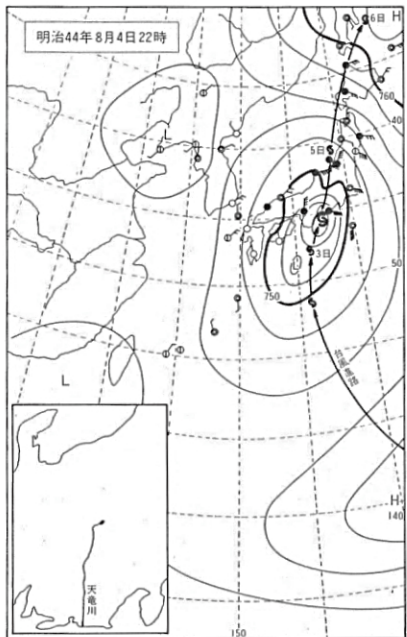
万延元年（1860年）以来の大洪水。
佐久間町半場で発生した河道内の天然ダムが崩壊。
洪水が段波となって流出し、下流地域の堤防を破壊。

明治44年8月3日から5日にかけて、潮岬の南方海上を北上した台風は、熊野灘より伊勢湾に上陸し、長野県・新潟県を通過しました。浜松地方は、4日朝より風雨が強まり、大井川から天竜川流域にかけて総雨量が300mm～800mmに達し、気田で日雨量583mmを観測しました。

天竜川の水位は鹿島で7.88mに達し、大洪水に加えて山林の崩壊が数十箇所が発生しました。佐久間町半場の下流地先では、大崩壊のため天竜川を埋没する土砂ダムが形成され、2時間位河川を堰き止めた後に崩壊し、平野地域へ段波となって流出し、大被害を発生させました。

水位

河川名	観測所名	区分	警戒水位	警戒水位	最高水位		摘 要
			(m)	突破時間	時間	水位(m)	
天 竜 川	鹿 島		5.00	推定4日13時	5日1時	7.88	最高水位は当時の観測資料に記されている値
〃	中 瀬		—	—	5日	5.30	昭和13年廃止 W.G. 0点—27.502 最高水位は昭和4年水位調査表 (名古屋土木出張所)による。以下同じ。
〃	池 田		3.50	不明	4日	4.97	
〃	掛 塚		3.50	推定4日17時	4日	4.73	



台風の経路

雨量

観測所名	区分		日雨量(mm)												連続 雨量	期 間	
	7月29日	30日	31日	8月1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日				
浜 松	46.9	33.8	0.5	—	27.1	169.3	169.5	2.6	2.5	0.1	7.3	24.3	14.3	417.0	自8月2日	— 至8月10日	
二 俣	98.9	63.8	0.4	—	33.0	133.5	233.2	1.4	2.5	22.3	2.0	66.4	4.0	498.3	〃		
気 田	107.4	129.8	14.8	—	30.2	212.2	582.6	2.9	1.8	1.6	30.1	136.5	1.7	999.6	〃		
水 窪	108.3	85.0	36.0	—	25.0	142.5	305.0	—	—	4.5	15.0	95.0	3.8	472.5	自8月2日	— 至8月4日	
山 香	11.0	150.0	3.0	3.0	—	114.0	444.0	38.0	—	—	30.0	74.8	—	596.0	自8月3日	— 至8月5日	
下 田																	



明治44年8月4日 浸水状況（浜松市浜北区上島地先）

流域内では破堤、溢水、土砂崩れが頻発。特に磐田郡（現・磐田市）では、死者・行方不明者19名、損壊家屋363戸、浸水家屋8,963戸、94.5km²が浸水。

磐田郡内 天竜川流域の被害

死 者	13名
行方不明者	6名
負 傷 者	11名
家屋の流出	105戸
全 壊	77戸
半 壊	181戸
床上浸水	5,446戸
床下浸水	3,517戸
浸水面積	9,449ha
堤防の決壊	318か所
決壊箇所の延長	10,103m
堤防の破損	333か所
破損箇所の延長	9,250m
橋梁流出	996か所
橋梁破損	320か所



浸水につかる JR東海道線（磐田市気子島付近）



明治44年8月4日 家屋浸水状況（浜松市浜北区上島地先）



護岸（そだ沈床）施工状況（明治44年頃 磐田市一貫地地先）